

支援業務課 NEWS

全国発表会で生産局長賞を受賞

～平成16年度全国優良畜産経営管理技術発表会～

10月29日、東京都内（虎ノ門パストラル）において、中央畜産会・全国肉用牛協会主催による平成16年度全国優良畜産経営管理技術発表会が開催され、全国各地より推薦を受けて最終審査に残った12経営・組織が事例発表を行いました。

本県からは酪農経営で推薦した岩室村の有限会社フジタファームの藤田毅・昌恵夫妻が参加し、全国発表会に臨みました。

最優秀賞の獲得はならなかったものの、生乳生産部門である「フジタファーム」と飼料用イネサイレージの供給を行う稲作生産部門の「米工房いわむろ」、さらに乳製品加工・販売部門の「レガーロ」が一体となった取り組みが未来型の酪農経営の1つの方向として高く評価され、生産局長賞、中央畜産会長賞を受賞されました。

当日の発表では、上記3部門の法人化の経過や、それぞれの法人の特徴を生かした地域循環型農業への取り組み、自家産の生乳を利用した「ジェラート」や「生産者指定牛乳」の地産地消への取り組み、さらに、酪農教育ファームや消費者交流活動の取り組み等幅広い特色ある取り組みを紹介し、酪農生産部門、稲作生産部門、乳製品加工販売部門の連携により優れた成果を上げていることが参加者からも高く評価されました。



生産局長賞を受賞の藤田毅・昌恵夫妻

クリーンポーク生産農場研修会が開催される

平成15年度より県の補助事業により「クリーンポーク生産農場」認定事業に取り組んでおりますが、去る12月7日に「メルパルク新潟」を会場に農場研修会を開催致しました。今回は「認定農場制度」の信頼性の確保や豚肉の有利販売の促進等、養豚生産者相互の取り組みについて交流の場を設けたものです。

安全・安心かつ高品質な食品に対する消費者ニーズに対応して、健康な家畜を飼育し、安全な食肉を安定的に供給するために、HACCP方式の考え方に基づく衛生管理手法を導入した養豚場を支援するものであります。

研修内容は話題提供として、「養豚場にHACCP方式の導入と衛生管理について」を中央家畜保健衛生所・石田秀史氏、「安全・安心な豚肉生産と販売活動の取組みについて」を妻有畜産株式会社・澤口茂利氏がそれぞれ発表しました。午後からは、「豚の生産履歴と健康について」を全農・大消費地販売推進部次長・原耕造氏より講演頂き、県内並びに全国での取組みについて学びました。

美味しさを紹介 「にいがた和牛・販売店・料理店ガイド」

発行・にいがた和牛推進協議会

にいがた和牛推進協議会（事務局：新潟県畜産協会）では、「にいがた和牛」を広く消費者にアピールするために「販売店・料理店ガイド」を作成しました。

「清らかな雪どけ水と澄んだ空気。新潟の自然に囲まれて育った「にいがた和牛」は、安全で安心な味わいが自慢です。素材の良さを活かしたさまざまな調理方法で、「にいがた和牛」の豊かな風味とまろやかな旨みがさらに引き立ちます。」を合言葉に平成16年度取扱指定店に登録された27店舗を紹介しております。

黒毛和牛の牛肉消費は地場産の「にいがた和牛」を是非どうぞ

A 5版、15ページ、問い合わせは（社）新潟県畜産協会
（新潟市山田2310-15、TEL 025-234-6781）